

① 陶器屋敷は水野銀四郎外の事
内至地、魯知軒東者力井即 横手
官助右様、二〇名男二〇女二〇 10年空室等の節約用意
丸方名様、二〇名

日本銀行

内至の食事はお詫びをうながすが、内付過
改善、お加えに化粧局八三日、中止。事務室側で机
院多々

聖例、萬和、おし玉子豆、一時即 即算大元助保、其算出
事小近康第一刻一萬和二時、尚固月以保、於、現在
事不設、隨意トキニシノ、樹園處、12月13日付御
152.

一

二

一

④ 陶器屋敷は仰望因支外四名
内至地、佐久野西柳、即有田村
官助右様、八六名

丸方名様、左金却

日本銀行

賃工賃第二刻三十分、合銀位下、唐通之多、六十枚次
向、此人後送也、之々レト事業主、御前、上事務室、因
着、減、食方々上テ三月五日、歸、事務室、佐野、事務室、因
仙三、當、双方、向、之々ナ、納、伊、張、之、前、付、事務室